

実施計画事業名		親準備事業		評価対象年度	平成 23 年度						
評価担当部署		生活福祉部保健課		課長(主幹)名	伊豆 健俊						
総合計画体系	分野	2	保健・福祉・医療								
	政策	2	子どもたちの健全な成長を支援します								
	施策	1	妊娠・出産期の支援の充実を図ります								
	関連施策										
現状と課題	親になる心身の準備がないままに親になり周りに相談できる人もいないまま育児不安をつのらせる親も多く、妊娠中からの仲間づくりと学習できる場は必要である。また、思春期からの正しい性の知識や生命の大切さや家庭の役割を学んでもらう取り組みが必要である。不妊に悩む夫婦が10組に1組はいると言われているが特定不妊治療は保険適用外で高額な自己負担がかかるため、経済的支援等が必要である。										
目的	これから親になる人を支援して、安心して妊娠・出産・子育てをしてもらう										
施策展開の	①妊娠期間中の支援…母子の健やかな成長と安心して出産してもらうための支援を行う(母子健康手帳の交付、健康診査の実施、マタニティ教室の開催、保健指導など) ②妊娠を望む夫婦への支援…保険適用とならない不妊治療費を助成する ③これから親になる思春期(高校生)に対する教育										
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度				
	マタニティ教室等初妊婦受講率		%	目標	42.0	42.0	42.0				
	説明	初めての子どもを出産する準備のためマタニティ教室に参加したカップルの数 / 初めての子どもを出産するために母子手帳の交付を受けた人の数					実績	57.6	54.0		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度				
	マタニティ教室等開催回数		回	目標	28	28	28				
		説明	マタニティ教室(パパ・ママ教室を含む)を開催した回数(延べ)					実績	31	31	
	特定不妊治療費助成を受け生まれた子どもの数		人	目標	7	8	10				
		説明	特定不妊治療費助成を受け妊娠して生まれた子どもの人数(累計)					実績	8	9	
				目標	-	-	-				
		説明						実績			
				目標	-	-	-				
	説明						実績				
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考					
	直接事業費(A)		千円	25,088	23,871	25,173					
	国庫支出金		千円	0	0	0					
	道支出金		千円	8,883	8,659	8,371					
	起債		千円	0	0	0					
	その他		千円	0	0	0					
	一般財源		千円	16,205	15,212	16,802					
	この事業にかかる職員数		人/年	1.03	0.87	0.87					
人件費(B)		千円	6,995	6,050	6,050						
計(A+B)		千円	32,083	29,921	31,223						
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 マタニティ教室において、参加者が親となる意識を高めるため、内容の修正や実施回数を増やした。										

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 将来、親となる市民への支援事業であるが、少子化対策の一助となるものでもあり、また妊婦健康支援については児童福祉法に児童虐待予防の観点からも位置づけられており、出産後へと繋がる継続的な支援となるよう、関係機関との連携を強化しながら一層取り進めていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--